

平成27年度11月定例記者会見 会見録

日時 平成27年11月18日(水)午後2時～2時15分

場所 市役所2階第1特別会議室

(市長)

はじめに、明日19日から開催されます市議会定例会議におきまして提案させていただき、12月補正予算につきまして、ご説明させていただきます。

主な事業といたしましては、職業能力開発総合大学校跡地周辺の道路整備がございました。この事業は、リニア中央新幹線駅が設置される橋本駅周辺のまちづくりに関する取り組みのひとつでございます。現在、橋本駅周辺にある県立相原高校及び相模原協同病院の移転候補地となっている、職業能力開発総合大学校の跡地周辺の、道路整備に係る用地の取得及び建物の除却等に係る経費を計上するものでございます。そのほか、子ども・子育て支援新制度に基づきまして、保育所等に支給しております給付費等の単価改定に伴う経費や、産業用ロボット導入支援に要する経費など、総額で19億8千7百万円を計上するものでございます。

次に、JAXA相模原キャンパスに関する、地域の要望等についてでございます。ご案内のとおり、JAXAを含む東京圏の国の関係機関につきましては、まち・ひと・しごと創生本部の施策のひとつとして、地方への移転が検討されておりますが、本市といたしましては、JAXAは市民生活に根付いた重要な施設でありますことから、安倍内閣総理大臣ほか、関係各機関へ、本市での存続を要望しているところでございます。また、11月12日には、相模原市自治会連合会から、JAXA相模原キャンパスの地方移転に、断固、反対するとともに、同キャンパスの事業継続を求める要望書が市に提出されております。本市が、まさに市民の皆様と心をひとつにして、JAXAの存続を訴えていけますことは、大変嬉しく、また、心強く感じているところでございます。相模原市自治会連合会におかれましては、今後、市内のさまざまな団体からの、JAXA相模原キャンパスの地方移転反対の要望を集約され、独自に国へ働きかけていくと伺っております。本市といたしましても、あらゆる機会を捉えて、国などの関係機関へ働きかけてまいりたいと考えております。

続きまして、相模原市と無錫市との友好都市締結30周年記念事業についてでございます。9月の会見でもご案内いたしましたが、無錫市とは、昭和60年に友好都市の締結をいたしまして、今年で記念すべき30年目を迎え、これまで両市において、様々な記念行事を開催してまいりました。今週末の11月21日には、無錫市の王進建副市長をはじめとする無錫市友好訪日団をお迎えし、「杜のホールはしもと」で友好交流30周年記念式典を開催いたします。当日は、式典のほか、無錫市の日本語スピーチコンテスト優勝者のスピーチや、本市の小学生による京劇の演技、無錫市歌舞団による演舞も披露されます。また、11月22日には、本市在住

で二胡の指導者である張勝氏による記念コンサートを開催します。中国楽器独特の美しい調べをお楽しみいただければと思います。そのほか、無錫市の紹介や両市の交流の歩みを記したパネル展示などもございますので、ご都合がございましたら、ぜひ、取材をお願いいたします。

最後になりますが、市のマスコットキャラクターである「さがみん」のぬいぐるみの設置についてでございます。明後日、11月20日は、相模原市の市制記念日であると同時に、「さがみん」の誕生日でございます。「さがみん」をより多くの皆様に知っていただくため、誕生日に合わせ、市役所の各窓口等に、「さがみん」のぬいぐるみを一斉に設置いたします。これからも、相模原市のマスコットキャラクター、「さがみん」に親しんでいただければと思います。

私からは以上でございます。

(記者)

職業能力開発総合大学校跡地周辺の道路整備については、事業費約29億円もの大規模な事業ですが、市民の方々に、どのようなメリットがある事業なのか、ご説明いただけますでしょうか。

(市長)

橋本駅周辺のまちづくりの一環として、県立相原高校と相模原協同病院につくまして、職業能力開発総合大学校跡地への移転が検討されております。多くの市民の皆様が通学や通院をする施設でございますので、交通が集中することが想定されます。しかし、現状では移転検討地へアクセスする道路が未整備でございますので、道路環境の充実に図り、利用者の利便性を確保するため、道路整備事業に係る予算を12月補正予算に計上させていただきました。将来的には、周辺のまちづくりの進捗状況を踏まえ、さらなる道路整備の方向性も考えていかななくてはならないと考えております。

(記者)

都市公園におけるドローンの使用や私的な植栽などを禁止するため、市議会12月定例会で、都市公園条例の一部を改正する条例案を提出するということですが、提案にあたり市長のお考えをお聞かせください。

(市長)

ドローンにつきましては、様々な催しの場や公園などの公共施設における落下など、多くの事故事例が報道されています。安全・安心な生活の確保のため、国でもドローンの規制について真剣かつ慎重に議論がされているところです。我々、基礎自治体といたしましても、市民の皆様の安全・安心な生活を守るため、公園などの公共施設における、ドローンによる事故を未然に防ぐ規制を設けさせていただくものでございます。

また、公園内への植栽等については、公園周辺地域の一部の方が、花等を植える

行為を行っているものです。公園をきれいにしたいという善意の気持ちから行われているものと思っておりますが、公共の場でございますので、合意形成を取りながら取り組んでいただき、私的な植栽はご遠慮いただくため、禁止事項として規制させていただきます。

(記者)

市議会12月定例会で、付議予定案件として副市長の人事案件がありますが、副市長の人選について市長の考えをお聞かせください。

(市長)

本市では3名の副市長がおりますが、政令指定都市に移行してから、国との連携強化のため、そのうち1名を国から登用してまいりました。小池副市長は、国から登用しました2代目の副市長で、来年の1月9日で4年の任期が終了いたします。現段階では人選はできておりませんが、12月の定例会に追加案件として提案させていただき準備を進めております。

(記者)

副市長の人事については、小池副市長の留任や新たに人選を行うなど、いろいろな方法があると思いますが、現段階では検討中ということですか。

(市長)

副市長は、本市の幹部職員であり、私は任命権者として人選を行う立場にはありますが、私ひとりの判断ではなく、いろいろな意見を聞きながら、絞り込みをしていきたいと考えております。政令指定都市として、国との連携や調整など、私ひとりでは対応が難しい状況にもありますので、国との調整に精通し、市政の進展に大いに寄与できるような人物を考えております。

(記者)

先日、海老名市長選挙が行われ、内野市長が四選を果たされましたが、市長のご感想をお聞かせください。

(市長)

海老名市は、田園風景が豊かな地域に街ができ、本市と同様に、近年、著しく市街地化が進んだ地域です。最近では大型の商業施設がオープンし、さらに駅周辺に投資を行うという発表もされております。県央地域において、産業経済を牽引するような地域だと思っております。今回、四選を果たされた内野市長も海老名市の情勢を踏まえた中で、経済成長が望める、積極的な都市形成を図ってきたのであらうと思っております。また、図書館の民間委託など、他都市に先駆けた取り組みを積極的に行われており、本市としても、近隣自治体として、このような施設展開も必要だと共鳴する部分もございました。積極的かつ先進的な取り組みや継続性が海老名市民に理解され、さらなる発展を期待された結果ではないかと思っております。

(記者)

先ほどの、職業能力開発総合大学校跡地周辺の道路整備についてですが、リニア新幹線駅設置や広域交流拠点づくりなど、これからの展開を見据えると、非常に重要な事業だと思います。市の重点施策の一つだと理解しておりますが、なぜ、当初予算等での予算計上でなく、年の迫った12月に補正予算計上して繰越明許を行うのか、市長のお考えを教えてください。

(市長)

単独の道路整備事業ということであれば、大規模かつ重要な事業ですから、当初予算で予算計上すべき事業です。今回の事業につきましては、職業能力開発総合大学校を所有する高齢・障害・求職者雇用支援機構と神奈川県、神奈川県厚生農業協同組合連合会、相模原市の4者が連携し協議を行っております。市としては、リニア中央新幹線が開業する2027年までに駅周辺のまちづくりが完成すれば良いという考え方もできますが、リニア事業の工事の進捗や、現在、仮校舎で授業を行っている相原高校の本校舎の早期建築など、それぞれの立場での意見があり、調整に時間を要してまいりました。しかし、このたび関係機関との調整が図れましたので、12月補正予算に事業費を計上させていただいたものです。

(記者)

予算計上の時期について尋ねたのは、事業を円滑に進めて欲しいという思いと、オリンピックを控えて資材や積算単価が上がるのが予想される中で、工費が上がる前に事業を進めるべきでないかと考えるからですが、市長のお考えはいかがですか。

(小星副市長)

ご指摘のような考え方もありますが、関係機関との調整が図られた時期と、今後の施設の移転時期や道路事業に係る土地所有者との折衝などを考慮しますと、この時期に事業を開始することが適切であると判断したものでございます。

以上